平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名　株式会社 シャルレ　　上場取引所　大
コード番号　9885　URL　http://www.charle.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡本　雅文
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 奥平　和良　TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,800	△10.2	317	△24.7	324	△24.0	233	△56.1
23年3月期第1四半期	5,343	4.2	421	474.9	427	379.8	532	653.7

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　271百万円　(△51.0%)　23年3月期第1四半期　553百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	12.05	―
23年3月期第1四半期	27.47	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	22,924	18,930	82.6
23年3月期	24,212	19,241	79.5

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　18,930百万円　23年3月期　19,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,140	△3.2	440	△64.9	450	△64.6	400	△67.4	20.64
通期	23,500	1.4	1,150	△24.5	1,180	△24.6	900	△44.7	46.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	21,034,950 株	23年3月期	21,034,950 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,658,702 株	23年3月期	1,658,643 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	19,376,277 株	23年3月期1Q	19,376,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で一時的に落ち込んだ生産活動が持ち直し、輸出が増加に転じるなど回復傾向が見られたものの、円高の進行や電力供給不足問題などの影響もあり先行き不透明な状況で推移しました。

当社企業グループにおきましては、東日本大震災により、事業所や設備等への大きな被害はありませんでしたが、国内レディースインナー等販売事業において、物流委託倉庫（埼玉）の設備の損傷、保管商品への被害、停電等により、商品の受注・出荷を一時的に停止したこと、また全国的な個人消費の自粛ムードがビジネスメンバーに心理的に影響し、販売活動が鈍化したことなどにより、業績への影響がありました。なお、東日本大震災の被災地域へは、支援物資の提供や売上高の一部を寄附することなど、継続的な復興支援に取り組んでまいりました。

このような環境のもと、当社企業グループは、人々の日々の生活に新たな『豊かさの基準』を提供する企業として、国内レディースインナー等販売事業を中心に業績の回復と安定的な収益確保を目指すとともに、国内外における「美と健康」の事業領域にも積極的に挑戦することを経営方針に掲げ、事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は48億円（対前年同四半期比10.2％減）、営業利益は3億17百万円（同24.7％減）、経常利益は3億24百万円（同24.0％減）、四半期純利益は2億33百万円（同56.1％減）となりました。

(国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、“毎日のくらしに「心おどる感動」と「心やすらぐ安心」を。”を長期的なビジョンに掲げ、「下着のシャルレ」から「美と健康のシャルレ」へとコーポレートブランドイメージのシフトを目指して、研究開発機能を強化し、より多くのお客様に喜んでもらえるために独自性のある商品の提供に積極的に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、一昨年に発売以来、着実に売上を伸ばし、累計20万枚以上の売上を記録いたしましたウエルネス商品の腰サポートガードル「サポトレ」については、夏向けの機能と素材を取り入れた夏用の腰サポートガードル「サポトレサマー」を４月に発売し、売上に大きく貢献する結果となりました。また、ウエルネス商品の一層の浸透を目指して、爽快感の得られる独自設計のウエルネスメンズボトム「爽快革命」、並びに婦人用・紳士用のウエルネスソックス「５本指ソックス」を５月に発売し、計画を大きく上回る結果となりました。また、５月には、着心地の快適さやカラーバリエーション、手頃な価格帯をセールスポイントにもつ夏用のニューインナー「デイリークール」を発売し、ビジネスメンバーの活動促進に繋げました。さらに、ヘアケア・ボディーケアブランドである「シャルエーゼ」について、６月に販売促進キャンペーン「シャルエーゼ　サマースポット2011」として、ご愛用者および新規のお客様向けのギフトシーズンに対応したお得なセット商品を発売し、前年を上回る結果となりました。

営業施策面におきましては、４月に全代理店を対象にした「第28回シャルレ代理店セミナー」を実施し、経営方針や各種施策の共有化を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、活動意欲の向上に繋げました。

また、代理店や特約店対象に、４月より販売力および育成力強化を目的とした新たなインセンティブ施策を実施し、ビジネスメンバーの売上および組織の拡大に向けた取り組みを行っております。また、基礎化粧品ブランドである「エタリテ」については、売上拡大を目的に当期の販売強化策として、インセンティブ施策の実施やビジネスメンバーへの販売教育の強化を行っております。

このように積極的な事業展開を行ってまいりましたが、東日本大震災の影響により、相当期間においてビジネスメンバーの活動が鈍化したこと、加えて長引く消費マインドの冷え込みなども影響し、国内レディースインナー等販売事業の売上高は、46億25百万円（対前年同四半期比12.3％減）となり、営業利益は4億60百万円（同13.8％減）となりました。

(海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店での店舗販売を上海の旗艦店を中心に、18店舗で行ってまいりました。また、現地の消費者ニーズを反映した新商品の開発・販売、および現地販売スタッフの教育強化に積極的に取り組んでまいりました。出店後、一定期間経過している店舗については、既存顧客によるリピート購入の増加も相乗し、前年を上回る売上高となりました。しかしながら、利益面では現地の本部経費等を吸収するまでには至りませんでした。

これらの結果、売上高は31百万円（同48.0％増）となりましたが、営業損失は23百万円（前年同四半期は27百万円の営業損失）となりました。

（ＬＥＤ照明販売事業）

ＬＥＤ照明販売事業におきましては、改正省エネ法や東日本大震災の影響により、全国的な節電対策によるＬＥＤ照明器具の需要が高まりを見せる環境の中、積極的な営業活動を行ってまいりました。５月には、拡販に向けた期間限定の特別価格による「夏までに節電対策『ＬＥＤ導入宣言キャンペーン』」を実施し、結果として約2万8000本の受注に繋がりました。また、前期にＥＳＣＯ事業契約を締結いたしました群馬県太田市へのＬＥＤ防犯灯導入については、４月よりサービス提供を開始いたしました。

これらの結果、受注の増加により売上高は順調に推移し1億41百万円（同369.8%増）となりましたが、営業体制の強化による経費の増加に加え、拡販に向けた特別価格での商品の販売による売上総利益率の低下により、営業損失は72百万円（前年同四半期は40百万円の営業損失）となりました。

（情報サービス事業）

情報サービス事業におきましては、タッチ式ボイスリーダーペン（Ｕ－ＳＰＥＡＫ）を教育用ツールとして、アジア圏での普及と販路の開拓に引き続き注力しており、第２四半期以降に、海外向けの売上を計上する見込みです。

これらの結果、売上高は1百万円（同90.6%減）、営業損失は21百万円（前年同四半期は31百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少12億17百万円等により、前連結会計年度末に比べ12億87百万円減少して229億24百万円となりました。

負債は、未払金の減少7億52百万円、賞与引当金の減少2億31百万円等により、前連結会計年度末に比べ9億76百万円減少して39億94百万円となりました。

純資産は、四半期純利益2億33百万円、利益配当金5億81百万円等により、前連結会計年度末と比較して3億10百万円減少し、189億30百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の79.5%から82.6%に増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（在外子会社の収益および費用の換算方法の変更）

在外子会社の収益および費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、前連結会計年度の第４四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。そのため、前第１四半期連結累計期間と当第１四半期連結累計期間で、在外子会社等の損益の換算方法が異なっております。

これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,028	7,811
受取手形及び売掛金	245	164
有価証券	2,467	2,367
商品	3,556	3,834
貯蔵品	57	53
繰延税金資産	678	678
その他	319	293
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	16,347	15,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,373	1,545
土地	907	907
その他（純額）	301	95
有形固定資産合計	2,583	2,548
無形固定資産		
のれん	217	211
その他	567	494
無形固定資産合計	784	705
投資その他の資産		
投資有価証券	2,322	2,347
前払年金費用	1,138	1,104
繰延税金資産	260	260
その他	788	775
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	4,496	4,474
固定資産合計	7,864	7,728
資産合計	24,212	22,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940	818
未払金	1,651	898
未払法人税等	21	8
賞与引当金	358	126
その他	385	493
流動負債合計	3,356	2,345
固定負債		
売上割戻引当金	207	210
退職給付引当金	1,392	1,425
その他	14	13
固定負債合計	1,614	1,648
負債合計	4,971	3,994

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,528	12,180
自己株式	△1,201	△1,201
株主資本合計	19,825	19,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△521	△492
為替換算調整勘定	△63	△54
その他の包括利益累計額合計	△584	△546
純資産合計	19,241	18,930
負債純資産合計	24,212	22,924

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	5,343	4,800
売上原価	2,690	2,248
売上総利益	2,652	2,551
販売費及び一般管理費	2,231	2,234
営業利益	421	317
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	0	0
雑収入	4	6
営業外収益合計	11	12
営業外費用		
支払利息	－	0
持分法による投資損失	4	1
為替差損	1	2
社宅解約損	－	1
その他	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	427	324
特別利益		
持分変動利益	99	－
特別利益合計	99	－
特別損失		
固定資産除却損	2	1
投資有価証券評価損	3	－
災害による損失	－	85
特別損失合計	5	87
税金等調整前四半期純利益	521	237
法人税、住民税及び事業税	△25	4
法人税等調整額	28	－
法人税等合計	3	4
少数株主損益調整前四半期純利益	518	233
少数株主損失（△）	△14	－
四半期純利益	532	233

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	518	233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	28
為替換算調整勘定	1	4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
その他の包括利益合計	35	37
四半期包括利益	553	271
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	567	271
少数株主に係る四半期包括利益	△14	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内レディースインナー等販売事業	海外レディースインナー等販売事業	ＬＥＤ照明販売事業	情報サービス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,272	21	30	20	5,343	－	5,343	－	5,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	－	9	－	12	－	12	△12	－
計	5,276	21	39	20	5,356	－	5,356	△12	5,343
セグメント利益又は損失（△）	534	△27	△40	△31	434	△0	434	△12	421

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額にはセグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「ＬＥＤ照明販売事業」セグメントにおいて、事業譲受に伴い、当第１四半期連結累計期間において、のれん241百万円が発生しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内レディースインナー等販売事業	海外レディースインナー等販売事業	ＬＥＤ照明販売事業	情報サービス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,625	31	141	1	4,800	－	4,800	－	4,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	－	－	－	2	－	2	△2	－
計	4,628	31	141	1	4,803	－	4,803	△2	4,800
セグメント利益又は損失（△）	460	△23	△72	△21	342	△0	342	△24	317

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額にはセグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用24百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。